

「２０２６年世界マスタースズウェイトリフティング競技選手権大会に係る通訳手配業務」
に係る質問及び回答

No.	質問	回答
1	①通訳の拘束時間と実務との考え方 ①仕様書によると通訳の拘束時間と実働時間に差異がございますが、その時間はどのような業務を想定されていますか。	仕様書に記載のとおり、宿舎から会場までの移動及び会場でのウエイトリフティング業務視察補助やPR業務等を想定しています。
2	②食費ついて ②食費も含めることとなっておりますが、基本的に県職員様と一緒に取ることとなると思います。可能であれば、想定される旅費規程をお示しいただけませんでしょうか。	通訳者と県職員と一緒に食事をとることを求めるものではありません。 なお、食費に関する規定はありません。
3	仕様書（６）通訳の現地空港から現地宿泊施設間の交通について 19日および23日の空港～ホテル間の移動は県職員とは同乗せず、通訳者各自で移動ということなので、見積り費用に含むということでしょうか？	貴見のとおりです。
4	仕様書（７）県職員の現地宿泊予定施設について 現地のアテネ滞在ホテルですが、既にホテル名が決まっていれば教えて下さい。まだ決まっていない場合はアテネ市内のどの地区に宿泊予定かご教授願います。 （プラカ・シンタグマ・コウカキ）	仕様書添付の「日程表」に記載のとおり、ティタニアホテルに宿泊予定です。
5	仕様書（６）通訳者の日本からアテネ間の移動について 日本からアテネ間の移動は県職員とは同行せず、20日～22日間は業務実施、19日と23日の移動は通訳者各自で日本帰国という解釈でいいでしょうか？	通訳者を日本から手配する場合は、貴見のとおりです。 なお、仕様書添付の「日程表」のうち、9月19日及び9月23日は、県職員の行程を示したものであり、通訳者の発着地が日本に限ることまで求めているものではありません。

（ 以上 ）